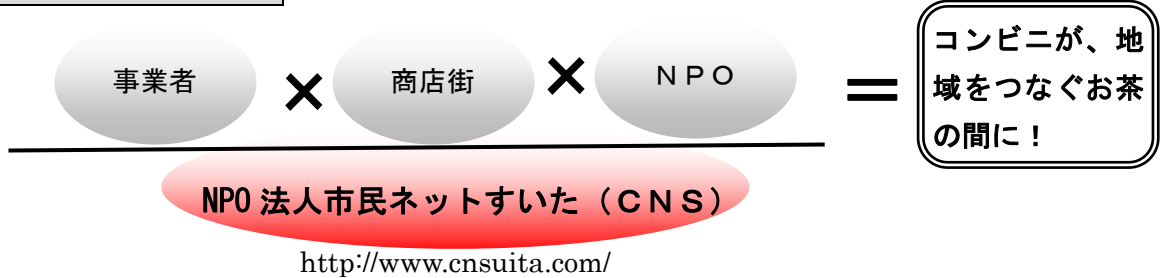


☆事例No.9 「栄えるカフェ IN 吹田」

JR吹田駅近くのファミリーマート吹田栄通り商店会店2階の「イートインスペース」に平成27年11月30日にオープンした「市民カフェ」です。ファミリーマートのコミュニティ型の実験的な店舗で、店内でドリンクや食べ物を買ってもらい、利用する仕組みとなっています。また、カフェの場を活用して、NPOや商店街が企画した様々なイベントを開催しています。



市民事業のコンセプト



どうやって活動に結び付いたか (プロセス)

きっかけ

○栄通り商店会とファミリーマートのつながり

・ファミリーマートの出店企画の担当者が、栄通り商店会会長に相談をされた。その中で、建物所有者の意向もあり、地域で運営し、地域に根ざした店舗づくりをめざすことになった。

○栄通り商店会とCNSのつながり

・市民カフェの場を実現しようと活動していたCNSの理事長と栄通り商店会の会長が10年前から商店街のイベントを通じて知り合いだった。栄通り商店会の会長がCNSの理事長にファミリーマートのイートインスペース活用への協力を持ちかけた。

展開

○地域のオーナー探し

・地域でオーナーになれる人を探し、ファミリーマートのフランチャイズ制度で関わりのあった(有)清水屋酒店に声をかけ、オーナーも決まり具体的に動き出した。

○運営主体

・交流・コミュニティ部分の運営を担う主体として、CNSが実施することになった。市民交流の場をつくりたいというCNSの想いと、ファミリーマートの地域型店舗のニーズが合った。

○催し開催や団体の会議利用

・CNSを通じた団体や商店街のつながりの中で、多世代が楽しめるイベントが行われている。また、NPOの会議の場として利用されている。

めざすもの

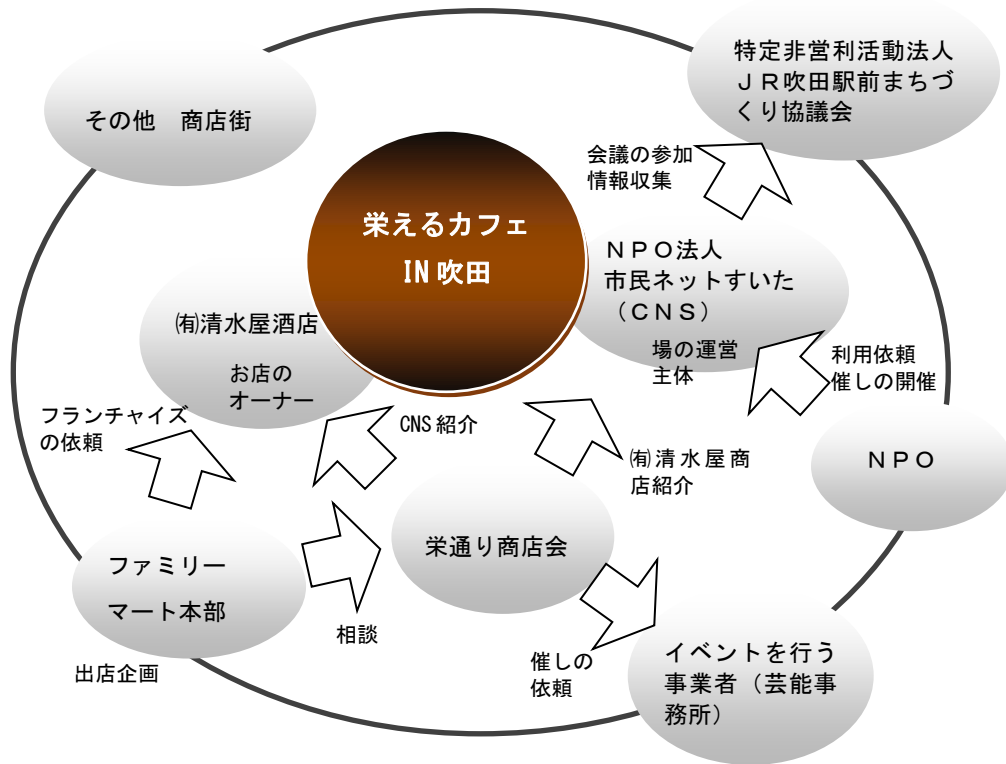
○市民活動に出会う場

・まちのお茶の間のよう場となり、ここを市民活動がつながっていく拠点にしていきたい。

○イートインスペースの可能性

・すぐには売上につながると考えていない。ファミリーマートとしても、コミュニティ型の付加価値を付けた実験的な店舗として、イートインの可能性を広げていければと考えている。

＜協働関係図＞



イートイン・スペース



NPOのちらし



イベント



会議の場



栄通り商店会



イベント